小山PA周辺地区：（仮称）小山ﾊﾟｰｷﾝｸﾞｴﾘｱ・ｽﾏｰﾄｲﾝﾀｰを活用した地域産業集積事業推進区域

フロンティア推進区域
（第１次指定 2014.5.27）

政策課題	●新東名高速道路（仮称）小山ＰＡにスマートＩＣが設置されることから、豊富な地域資源を活用した観光サービス産業への参入などの企業ニーズに的確に対応する必要がある。 ●小山ＰＡ周辺の観光施設や立地企業と連携した防災拠点の創出が求められている。
解決策	●（仮称）小山スマートＩＣ周辺に、地場産品販売所等の設置や自動車関連産業の集積を行い、地域の観光資源を活かしたビジネス観光拠点を創出する。 ●有事においては、立地企業等との協定等を締結し、（仮称）小山ＰＡ、富士スピードウェイと連携した防災拠点を創出する。

【事業内容】
・地域防災力を高める観光関連施設及びモータースポーツ関連産業の集積

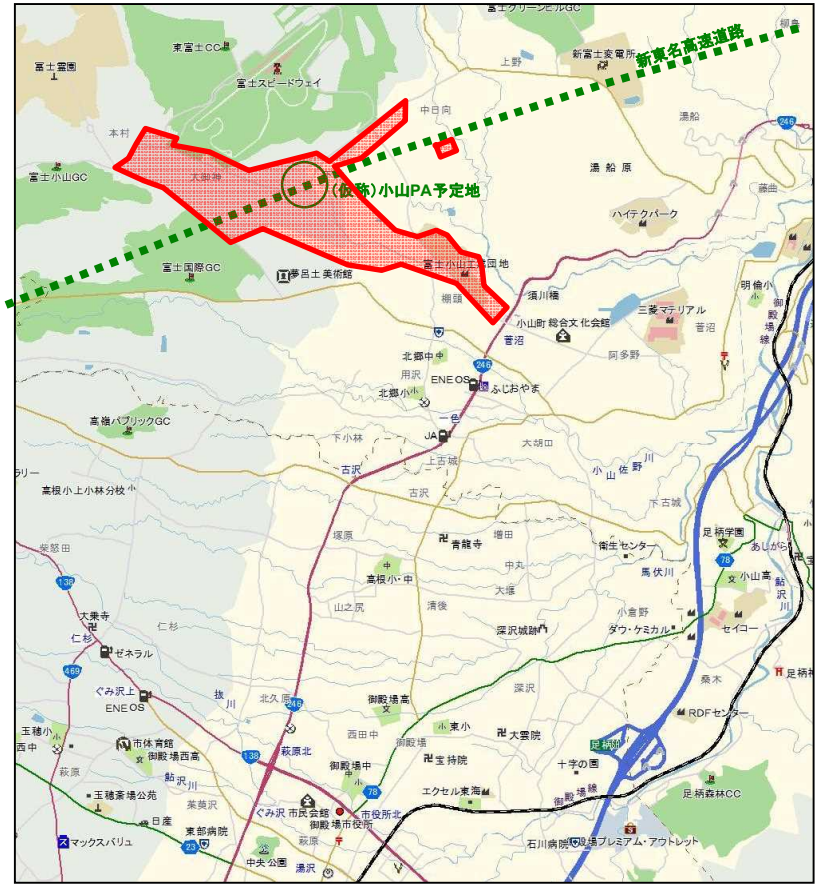
【想定している事業実施主体】
・小山町

【推進体制の設置状況及び活動状況】
・小山町ふじのくにのフロンティアを拓く取組推進協議会

【活用を予定する県の支援策】

調査助成	用地取得費助成	工業用地助成	中小企業融資
○	○	○	○

【区域の範囲】（対象面積：約190ha）



【スケジュール】

2017年度	地権者等協議会設立
2018年度	基本設計・測量
2019年度	実施設計・用地買収
2020年度	造成工事

小山ＰＡ周辺地区　将来土地利用構想

事業協力者：代表事業者・トヨタ不動産㈱
共同提案事業者・坪井工業㈱　　2018年8月基本協定締結　　2020年5月伐採工事着手

小山ＰＡ周辺地区　土地利用計画図

今後実施する基本計画・実施設計により内容に変更が生じる場合があります。

足柄SA周辺地区：東名高速道路足柄ｻｰﾋﾞｽｴﾘｱ周辺を広域都市交流拠点とした土地利用事業推進区域

フロンティア推進区域
（第１次指定 2014.5.27）

政策課題	●東名足柄ＳＡ周辺は、豊かな自然環境や優れた交通利便性を活かした交流の場の創出と企業の集積が必要となっている。 ●富士山火山防災も視野に入れた防災拠点の創出が求められている。
解決策	●東名高速道路足柄ＳＡにスマートインターチェンジを整備するとともに、観光拠点施設の整備及び工業用地を創出する。 ●有事においては、立地企業等と防災協定を締結することで、広域防災拠点として活用する。また、新東名（仮称）小山ＰＡと連携し、防災機能の強化を図る。

【事業内容】
・広域防災拠点となり得る観光関連施設及び工業用地の整備、スマートインターチェンジの整備

【想定している事業実施主体】
・民間事業者、小山町

【推進体制の設置状況及び活動状況】
・小山町ふじのくにのフロンティアを拓く取組推進協議会

【活用を予定する県の支援策】

調査助成	用地取得費助成	工業用地助成	中小企業融資	住宅整備助成	農業基盤整備支援
○	○	○	○	－	－

【区域の範囲】（対象面積：約64ha）

【スケジュール】

2015年度	スマートIC連結許可申請 開発事業地権者協議会設立
2016年度	スマートIC連結許可、整備事業着手 開発許可、事業着手、防災協定締結
2017年度	スマートIC整備工事 開発事業工事
2018年度	スマートIC整備完了 開発事業完了

足柄ＳＡ周辺地区航空写真

東名高速道路足柄SA周辺を
広域都市交流拠点とした土地利用事業

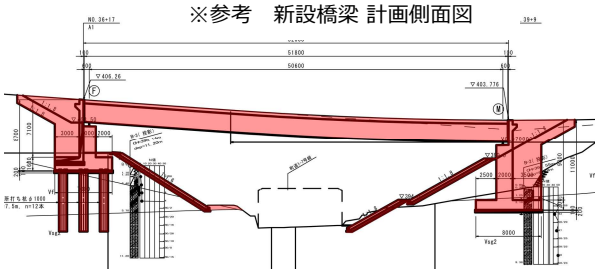
RDFセンター：　御殿場市・小山町広域ごみ処理施設
（2014年度末で廃止⇒跡地利用）
※2018年解体工事完了

足柄ＳＡ周辺地区（桑木地区）町道整備事業

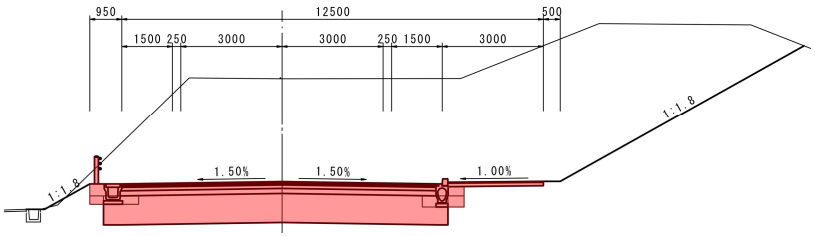
【事業概要】
事業延長：1.1㎞
幅　　員：12.0m
規　　格：３種３級（40㎞/h）
事業期間：平成29年度～令和6年度
現況交通量：140台/日
（H27ｾﾝｻｽ・現道1車線）
計画交通量：6,600台/日
（R12計画・2車線）
供用開始：令和7年7月9日

東名高速道路足柄SA下り線側の足柄スマートICから、主要幹線道路である県道御殿場大井線に接続する全長約1.1㎞の町道整備事業。
足柄スマートIC近接で予定されている、民間開発事業の複合観光施設等へのアクセス強化により、地域活性化が期待される。

※参考　新設橋梁 計画側面図



※参考　道路計画横断面図



計画起点側

計画中間点

計画終点側

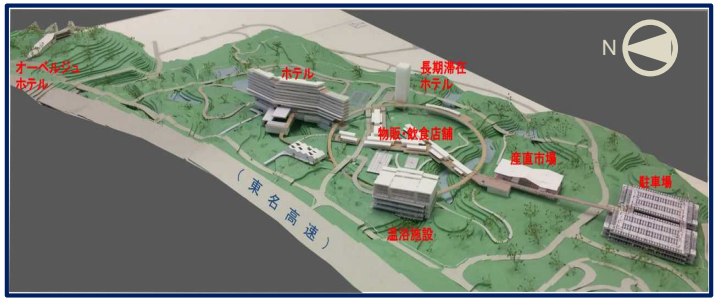
※令和７年３月時点の現場状況

足柄ＳＡ周辺地区（桑木地区）複合観光施設開発事業

ふじのくに AQUAxIGNIS小山　事業計画

☆県内の海の幸・山の幸を集め販売する**産直市場**
☆国内外で活躍する**有名シェフのレストラン**
☆本物の素晴らしい**富士山を眺める温泉**
☆上質な滞在を約束する**ハイエンドブランドのホテル**

「森をできる限り残して 豊かな自然のもつ魅力を活かす」



（株）ふじのくにアクアイグニス小山

計画概要
事業区域面積：254,896㎡
開発許可：2019年6月　　開業：2027年（予定）

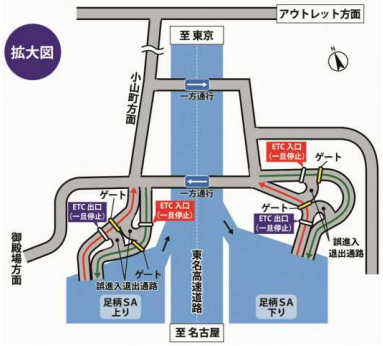
小山町で体験する新しいおもてなしのかたち
「健康・スポーツ」で創る着地型観光
（地域の創意工夫による新しい旅行の発着点）

※事業計画の再構築中のため、本内容は変更する場合があります。

東名高速道路 足柄ＳＡ・足柄スマートＩＣ整備事業

2016年6月6日　東名高速道路足柄サービスエリアと小山町道との連結許可を取得
2019年3月9日　東名高速道路足柄スマートインターチェンジ開通

利用時間　24時間利用可能
出入方向　全方向に利用可能
（東京・名古屋方面）
対象車両　ETC車載器を
搭載した全車種

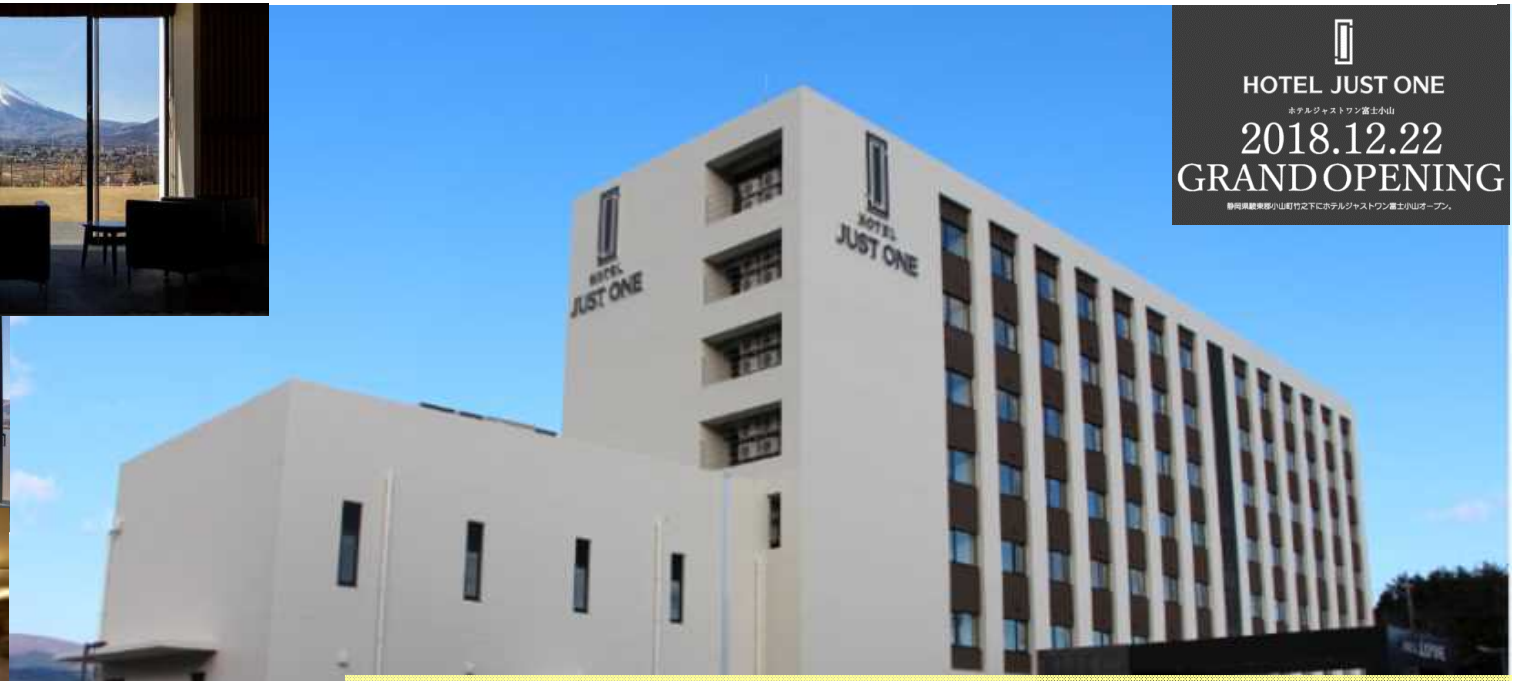


E1東名高速道路足柄スマートIC
～開通1年後の交通状況及び整備効果～

■足柄スマートICと隣接IC全体の1日平均利用台数が800台増加
■利用ICの分散が図られ、御殿場ICの渋滞発生回数が5割以上減少
■FUJI　SPEEDWAYから大井松田ICまでの休日ピーク所要時間が、最大約16分短縮
■第三次医療施設までの救急搬送時間が5分短縮し、12回の搬送を実施
（2020年9月25日プレスリリース）

足柄ＳＡ周辺地区（竹之下地区）宿泊施設整備事業

ビジネスホテルとシティホテルのセンターラインに位置する新感覚ホテル



・交流人口の拡大と地元雇用を創出
・レストランでは地場産品を提供
・バンケットルームを用い地域交流イベントが可能
・町と災害時における宿泊施設などの提供に関する協定を締結

名称：『ホテルジャストワン富士小山』
客室：162室　収容人数：290人
事業者：株式会社和栄
事業面積：約12,000㎡　構造：鉄筋コンクリート7階建て

YouTubeで、ホテル建設地の眺望を見ることができます。

南藤曲地区「家・庭一体の住まいづくり」推進区域

フロンティア推進区域
（第2次指定 2014.10.14）

政策課題	●湯船原地区の工業団地整備に伴い、職住が近接した住宅用地の確保が求められている。 ●有事において自助共助の理念が醸成された地域コミュニティの形成が必要である。
解決策	●自然と調和した家・庭一体の住宅団地を整備し、工業団地の職住近接の住宅としての機能を確保する。 ●有事に自立可能なスマートタウンの創出や、区域内に整備する避難地としてのパブリックスペースの確保により、防災対応力の高い住宅団地を形成する。

【事業内容】
・防災対応力の高い住宅団地整備

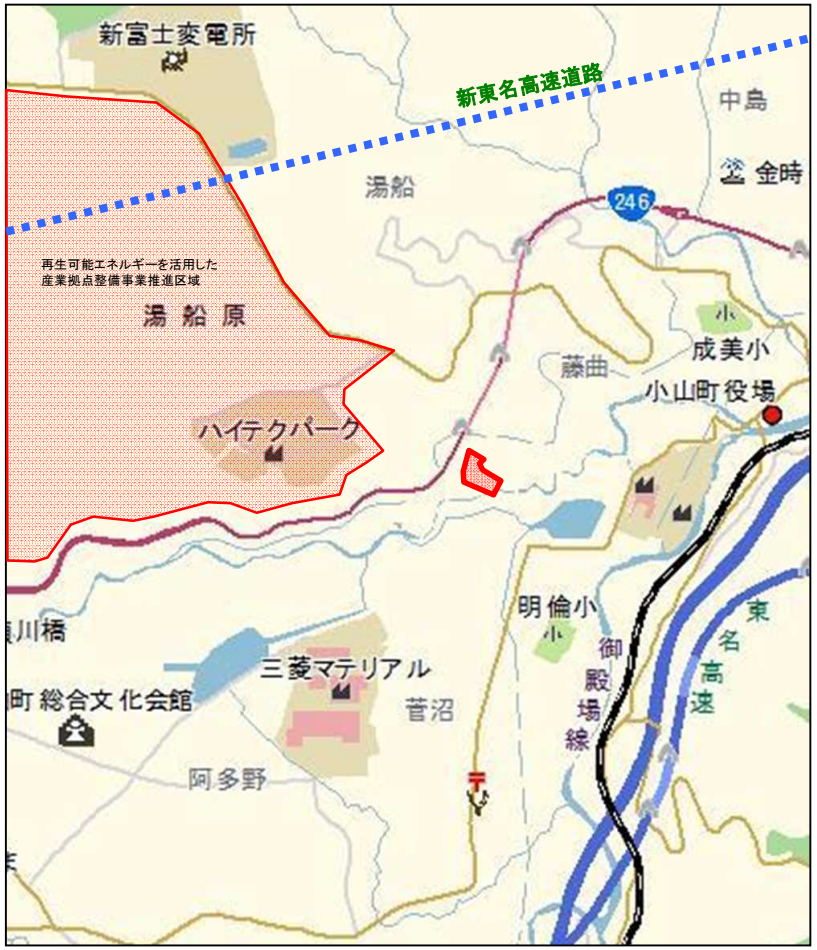
【想定している事業実施主体】
・小山町

【推進体制の設置状況及び活動状況】
・小山町ふじのくにのフロンティアを拓く取組推進協議会

【活用を予定する県の支援策】

調査助成	用地取得費助成	工業用地助成	中小企業融資
―	―	―	―

【区域の範囲】（対象面積:0.55ha）



【スケジュール】

2014年度	実施設計、造成工事着手
2015年度	分譲開始

生活と自然が調和した「富士小山わさび平地区」推進区域（優良田園住宅事業）

フロンティア推進区域
（第２次指定 2014.10.14）

政策課題	●新東名高速道路（仮称）小山ＰＡのｽﾏｰﾄｲﾝﾀｰの設置による利便性の向上や、恵まれた自然環境を活かした、住宅用地の確保が求められている。 ●（仮称）小山ＰＡ等と連携した防災拠点の創出に加え、観光客の一時滞在や災害復旧支援者の受入地の確保が必要である。
解決策	●富士山が望める場所で、自然と調和した家・庭一体の住宅団地を整備し、沿岸部からの移転の受け皿の確保と県内外からの移住・定住の促進を図る。 ●地区内の研修所等施設と協定を締結し、地域住民や観光客の一時避難や災害復旧支援者受入機能を確保し、地域防災力の強化を図る。

【事業内容】
・既存施設との協力協定締結と防災機能を確保した住宅団地整備

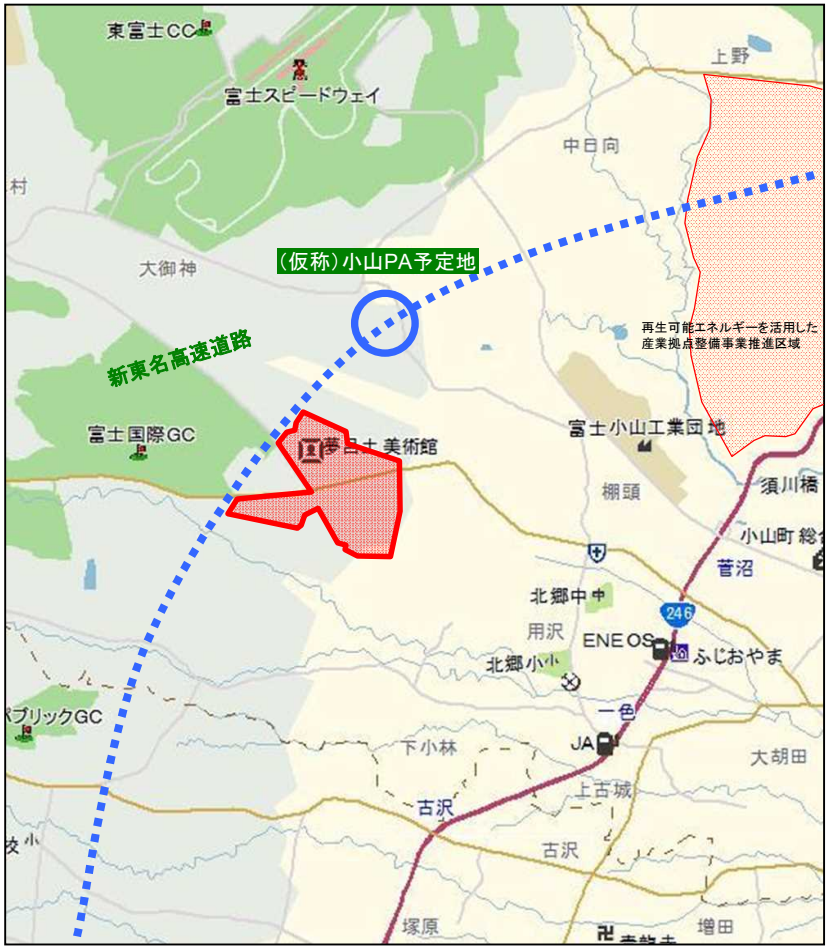
【想定している事業実施主体】
・民間事業者、小山町

【推進体制の設置状況及び活動状況】
・小山町ふじのくにのフロンティアを拓く取組推進協議会

【活用を予定する県の支援策】

調査助成	用地取得費助成	工業用地助成	中小企業融資
―	―	―	―

【区域の範囲】（対象面積：約25ha）



【スケジュール】

2014年度	地区計画に関する基本方針策定
2015年度	優良田園住宅の基本方針策定 土地利用計画作成
2016年度	造成工事着手、分譲開始準備

富士小山わさび平地区「優良田園住宅事業」

富士山を望む豊かなゆとりある住宅団地「わさび平分譲地」

⇒良好な町並み形成のためのガイドライン
- 敷地面積300㎡以上
- 建ぺい率30%以下、容積率50%以下
- 道路境界から5m以上の壁面後退
- 建物の高さを8m以下に制限

	居住件数	居住人数	子育て世帯
町内（小山町）	5	17	4
町外（御殿場市）	24	84	14
町外（裾野市）	4	14	4
町外（静岡市）	1	4	1
町外（東京都）	2	8	2
合　計	36	127	25

南藤曲地区「家・庭一体の住まいづくり」

子育てにやさしい住宅地「クルドサック16」

⇒団地内道路は曲がった袋小路（ｸﾙﾄﾞｻｯｸ）
- 通行車両が少なく、スピードが出せない
- 用事のない人は入ってこない

静岡県豊かな暮らし空間創生住宅地に認定

	居住件数	居住人数	子育て世帯
町内	8	28	5
町外（御殿場市）	8	27	7
合　計	16	55	12

令和8年度4月現在

駿河小山駅周辺地区：富士山の眺望を活かした駿河小山駅周辺活性化事業推進区域

フロンティア推進区域
（第4次指定 2015.10.13）

政策課題	●駿河小山駅周辺の未利用地を活用した中心市街地の活性化 ●有事の際の駅利用者の安全・安心の確保
解決策	●駅周辺の未利用地を企業誘致のための工業用地として整備し駅周辺に人の流れを創出するとともに、観光客に対する情報発信機能を強化 ●有事に備え、立地企業と防災協定を締結するとともに、強化した情報発信機能を活用して防災情報を駅利用者等に提供

【事業内容】
・防災機能を備えた工業用地整備及び観光交流施設の機能強化

【想定している事業実施主体】
・民間事業者、小山町

【推進体制の設置状況及び活動状況】
・小山町ふじのくにのフロンティアを拓く取組推進協議会

【活用を予定する県の支援策】

調査助成	用地取得費助成	工業用地助成	中小企業融資	住宅整備助成	農業基盤整備支援
○	○	―	○	―	―

【区域の範囲】（対象面積：約30ha）

【スケジュール】

2015年度	企業誘致、情報発信手法検討
2016年度	造成・建築工事完了、防災協定締結 情報発信手法確立
2017年度	情報発信拠点化準備

駿河小山駅周辺地区航空写真

指定区域面積　A＝30ha

富士山の眺望を活かした
駿河小山駅周辺活性化事業

駿河小山駅周辺地区 新規企業立地 信濃高原食品㈱富士小山工場

JR駿河小山駅近くに完成した
信濃高原食品(株)富士小山工場
◇2016年5月竣工

信濃高原食品(株)は、長野県に本社を置く
丸善食品工業のグループ会社であり、
生産ラインの拡大を計画する丸善食品工業(株)が
用地を取得し建設されました。
生産ライン：1日当たり約4万5千ケースの飲料水
県から指定を受けた「フロンティア推進区域」への立地
2018年3月、第2期工事完了

（駿河小山駅周辺地区航空写真）

富士山の眺望を活かした駿河小山駅周辺活性化事業

須走周辺地区：富士山に抱かれた須走周辺地区観光活性化事業推進区域

フロンティア推進区域
（第５次指定 2016.5.17）

政策課題	●富士山観光の拠点である須走地区において、通過・交流から滞在へ人の流れを創出 ●有事における観光客の安全・安心の確保
解決策	●「道の駅すばしり」周辺及び国道138号沿道に観光宿泊施設を誘致 ●有事に備え、誘致施設と防災協定を締結し、道の駅と連携した観光客の一時避難地として活用

【事業内容】
・観光宿泊施設の整備

【想定している事業実施主体】
・民間事業者

【推進体制の設置状況及び活動状況】
・小山町ふじのくにのフロンティアを拓く取組推進協議会

【活用を予定する県の支援策】

用地取得費助成	工業用地助成	中小企業融資	住宅整備助成	農業基盤整備支援
―	―	○	―	―

【区域の範囲】（対象面積：約150ha）

【スケジュール】

2016年度	関係機関協議、実施設計
2017年度	観光宿泊施設工事着手

須走周辺地区　現況写真

富士山須走口登山道の観光客を対象とした観光宿泊施設整備

〇都市計画法の運用基準〔※〕を定め、
　エリア内に宿泊施設を誘導
・観光資源である富士山を活用し、交流人口拡大を図る。
・既に2つの民間施設がホテルに用途を変更し営業開始

推進区域指定面積　Ａ＝150ha

〔※〕都市計画法第34条第２号に規定する開発行為のうち、観光資源の有効な利用上必要な建築物の建築又は建設の用に供する目的で行う開発行為の運用基準

富士山に抱かれた
須走周辺地区観光活性化事業

(12)小山町:リバーガーデンタウンおやま宅地造成事業推進区域

フロンティア推進区域
（第6次指定 2016.11.1）

政策課題	●内陸フロンティア推進区域等をはじめとする工業団地整備や観光関連施設等の整備が進む中、新たな雇用者となる若者世帯の受け皿となる住宅地の確保 ●少子高齢化により弱体化した集落機能の維持と地域防災力の強化
解決策	●水と緑溢れる豊かな自然環境を生かした職住近接のゆとりある住宅団地を整備 ●避難所として利用可能な公園整備とともに、公園を活用した防災イベントや自然環境保全活動等を展開することにより地域住民と新たな居住者との協働活動を活発化し、地域コミュニティを強化

【事業内容】
・住宅団地の整備

【想定している事業実施主体】
・町、民間事業者

【推進体制の設置状況及び活動状況】
・小山町ふじのくにのフロンティアを拓く取組推進協議会

【活用を予定する県の支援策】

用地取得費助成	工業用地助成	中小企業融資	住宅整備助成	農業基盤整備支援
―	―	―	―	―

【区域の範囲】（対象面積：約58ha）

①	再生可能エネルギーを活用した産業拠点整備事業推進区域
②	(仮称)小山ﾊﾟｰｷﾝｸﾞｴﾘｱ・ｽﾏｰﾄｲﾝﾀｰを活用した地域産業集積事業推進区域
③	富士山に抱かれた須走周辺地区観光活性化事業推進区域
④	東名高速道路足柄ｻｰﾋﾞｽｴﾘｱ周辺を広域都市交流拠点とした土地利用事業推進区域

【スケジュール】

2017年度	開発可能性に関する基本調査
2018年度	優良田園住宅の建設の促進に係る基本方針変更
2019年度	測量・調査

小山町のまちづくり推進体制　～ ふじのくにのフロンティアを拓く取組～

1. チームフロンティアおやま(2013.5.7設置)

・副町長をリーダーに関連する課員で構成する庁内プロジェクトチーム
・計画具体化・事業円滑化のため庁内横断的な意見交換
・開催実績　2013年：13回、2014年：8回、2015年：8回、2016年：6回、2017年：5回
2018年：4回、2019年：1回、2020年：1回、2021年：1回、2023年：4回
2024年：2回、2025年：1回、※2022年はｺﾛﾅ等の影響により不開催

2. 小山町ふじのくにのフロンティアを拓く取組推進協議会(2013.10. 9設立)

・副町長を会長に、地元自治会・団体、金融機関、進出企業と、行政（国・県・町）で構成する官民連携の協議会
・推進計画の協議、情報共有と情報発信事業を実施
・開催実績　2013年：2回、2014年：3回、2015年：3回、2016年：2回、2017年：2回
2018年：2回、2019年：2回、2020年：書面2回、2021年：書面1回
2022年：書面1回、2023年：1回、2024年：1回、2025年：1回、2026年：1回

推進協議会総会

金太郎生誕の地　おやま

【問い合わせ】
〒４１０－１３９５
静岡県駿東郡小山町藤曲５７－２
小山町　未来創造部
フロンティア推進課　フロンティア推進班
TEL ０５５０－７６－６１２９
Fax ０５５０－７６－４６３３
mail miraikyo@fuji-oyama.jp